



SELF LOCK

ENDO "SELF LOCK" SERIES

セルフロック [墜落防止器]

賠償責任保険付



MODEL SELF LOCK
WORKING LOAD 1200kg
ROPE LENGTH 1.20m
EN1200
ENDO

ENDOのセルフロックは 墜落の恐怖からあなたを守る

■アルミボディ ■ステンレスボディ

ENDOのセルフロックは——

高所作業は体力の消耗や精神的な疲労、そのうえ風圧や震動などにより常に危険にさらされています。高所で作業する人々が安全に、そして自由に作業していただくことを目的に開発された画期的な製品です。

こんなところに——

土木、建設、造船、橋梁、鉱山、電気工事、あらゆる高所作業にぜひご利用ください。

●本器は産業安全技術館内に展示されております。

型式の説明

SL-25L

L 使用荷重 100kg
H // 120kg
ロープ長さ
セルフロック

SLM-12

ロープ長さ
シリーズ名



使用例

構造・特長

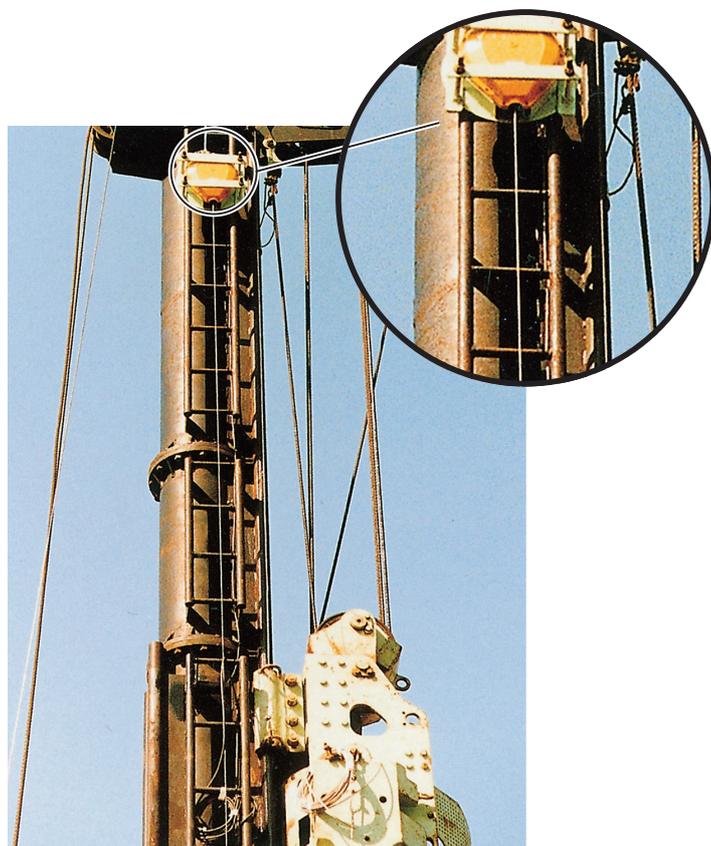
●密封されたアルミ合金製のケース内には、ワイヤロープを巻き取るドラムがあり、それに内蔵されたスプリングの力により、ワイヤロープが巻き取られます。又、遠心力によるラチェット機構が組込まれており、引き出し速度により、自由に引き出されたりロックしたりする構造になっています。

注)SLM-12、15はステンレスボディです。

●ワイヤロープは、人の歩く程度の速さ以下なら自由に引き出せますが、その限界速度を超えると瞬時にラチェットが、ドラムに固定されているラチェットホイールにロックし、ロープの繰出しが停止し、墜落を防止します。ロープをゆるめると、ロックは開放され再び引き出すことができます。

注)SL-30H,35H・SLM-12,15は、緩衝装置が組込まれていますので、ロープの繰出し長さはSL-7H,10L,17H,25Lに比べ長くなります。

●全機種ともスプリングによる自動巻き取り式ですので、ワイヤロープがゆるんだりすることは無く、安全に、自由に作業することができます。



設置例

杭打ち機に設置する場合、震動や強風などによりSL本体が激しく揺れることにより、杭打ち機本体に打ち付けられボディが破損するおそれがあります。図のようにSLを鉄板などで囲い、使用する事を推奨します。

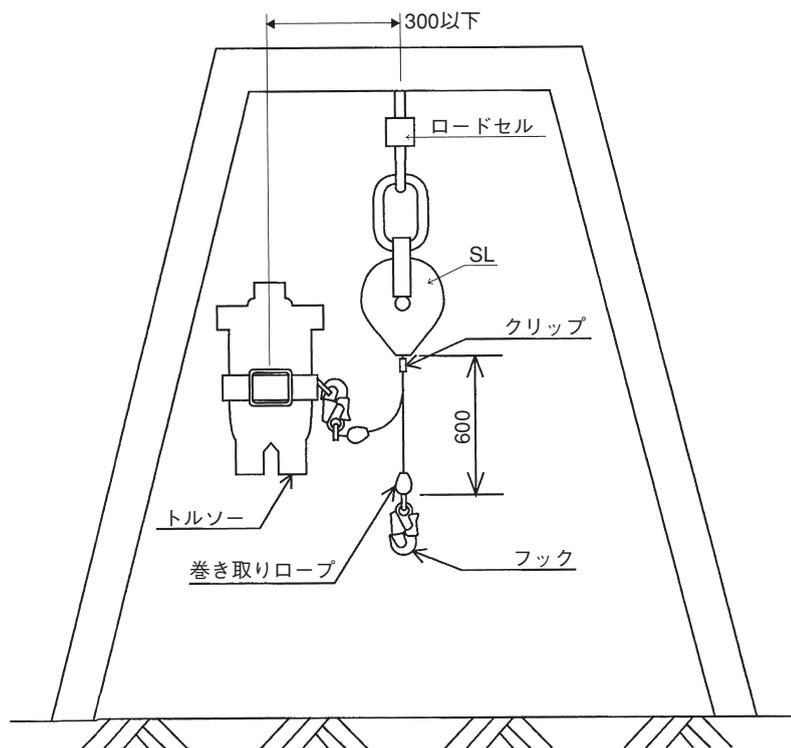
落下試験

※労働省産業安全研究所の「安全帯構造指針」に基づいての試験方法です。

●試験方法

SLの上端を、構造物に設置されたロードセルを備える固定アンカーに取り付ける。

SLからワイヤロープを600mm引き出し、落下体を落下させる。衝撃荷重及び落下体の落下距離を測定する。



重要事項 (SL型・SLM型)

1. セルフロックは、安全を期すため使用、未使用にかかわらず、必ずご購入後3年以内に、その後3年毎にメーカーの検査（総点検）を受けてください。
2. 墜落事故で作動したセルフロックは、絶対に再使用しないでください。必ずメーカーの検査（総点検）を受けてください。
3. セルフロックの取り付けおよび使用前に、取扱説明書を注意深く読み、ご理解いただいたうえで正しくご使用ください。
4. -10°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$ の温度範囲でご使用ください。

使用上のご注意 (SL型・SLM型)

- 水平移動の作業には絶対に使用しないでください。墜落時に横揺れし非常に危険です。
- 作業開始前の点検は必ず実施してください。
- ワイヤロープがたるんだままで使用しないでください。
ワイヤロープにたるみが生じた場合は、少し引き出してから巻き取らせてください。
- セルフロックは必ず安全帯と併用し、安全帯のD環にセルフロックの安全フックを直接取り付けしてください。
(セルフロックの安全フックを安全帯のフックに取り付けて使用しないでください。)
安全帯は落下傘形式のものをおすすめします。ヘルメットも忘れずに着用してください。
- 安全フックの外れ止めが閉じていることを確認してください。
- アングルやH形鋼等の鋭い角に、ワイヤロープを接触させないでください。
作業者が移動するとき、ワイヤロープが構造物に接触しないように注意してください。
- 引き出したワイヤロープは手を放して巻き取らせないでください。
ワイヤロープが急速に巻き取られ、セルフロック本体やワイヤロープが損傷し非常に危険です。
- ワイヤロープを形くずれやキンクさせないように注意してください。
- セルフロックを投げたり、ぶついたり、引きずらないでください。
- 作業終了後は、ワイヤロープを必ず本体内に収納してください。
- 屋外に取り付けたまま野ざらしにしないでください。
内部のサビにつながり非常に危険です。
- 高湿や強酸性等の腐食性雰囲気、あるいは粉塵の多い場所等の使用環境の悪い場所では各部のいたみが激しいので、頻繁に点検を行なってください。

アルミ仕様の丈夫なタイプ

仕様

商品コード	600030	600010	600040	600020	600050	600060
型式	SL-7H	SL-10L	SL-17H	SL-25L	SL-30H	SL-35H
使用荷重	30~120kg	30~100kg	30~120kg	30~100kg	30~120kg	30~120kg
使用ロープ	φ4.76	φ4.4	φ4.76	φ4.4	φ4.76	φ4.76
ロープ長さ	7m	10m	17m	25m	30m	35m
性能	連結部の強さ	18.3kN	17.0kN	16.3kN	13.0kN	13.3kN
	最大衝撃荷重	4.3kN	4.4kN	3.9kN	4.3kN	4.0kN
	落下距離	0.9m	0.9m	0.7m	0.7m	1.0m
質量	6.5kg	6.5kg	13.5kg	13.5kg	22kg	23kg

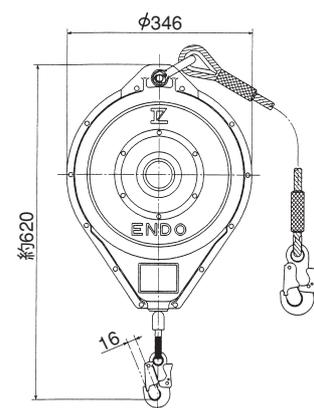
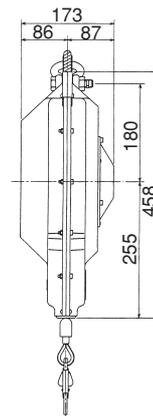
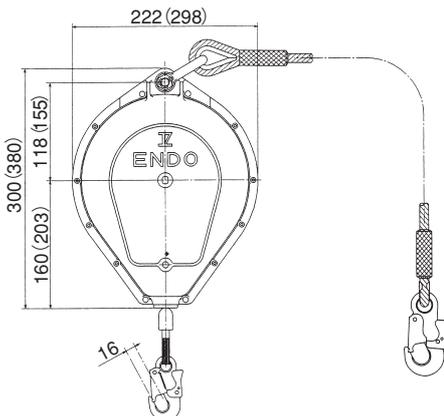
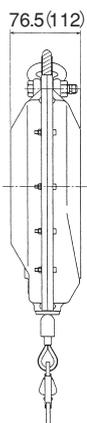
〈注〉性能は、安全帯構造指針の試験方法による数値です。
 《標準附属品》シャックル・スリングロープ

外形寸法図 (mm)

SL-7H, 10L, 17H, 25L



SL-30H, 35H



〈注〉1.実寸法はSL-7H及び10Lを示す。
 2.()内寸法はSL-17H及び25Lを示す。

SLM型シリーズ (ステンレスボディ)

人体用

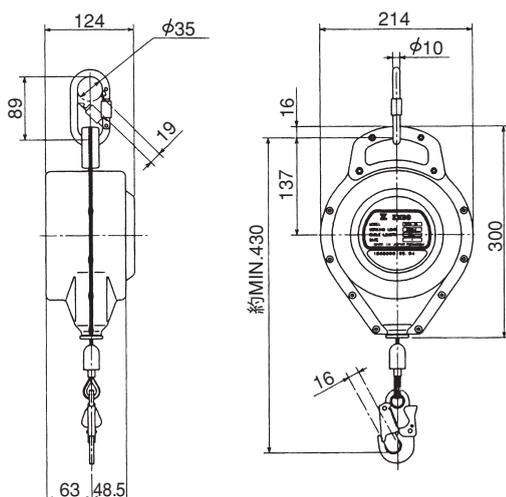
ステンレス仕様で錆にくいタイプ

仕様

商品コード	600270	600280	
型式	SLM-12	SLM-15	
使用荷重	30~120kg	30~120kg	
使用ロープ	φ4.4	φ4.4	
ロープ長さ	12m	15m	
性能	連結部の強さ	16.7kN	16.7kN
	最大衝撃荷重	5.1kN	4.9kN
	落下距離	1.2m	1.0m
質量	7.3kg	7.5kg	

〈注〉性能は、安全帯構造指針の試験方法による数値です。
《標準附属品》カラビナ

外形寸法図 (mm)



特別附属品

■プルロープ(ビニロンロープφ3)

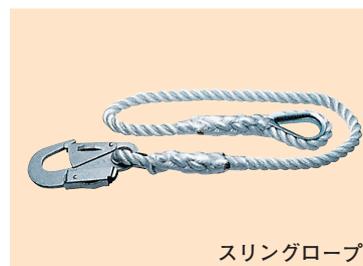
高所に据え付けたセルフロック本体よりワイヤロープを引き出す時に、ご使用ください。



ロープ長さ	品番	適用型式
10m	LSP000028	SL-7H, SL-10L
14m	LSP000073	SLM-12
17m	LSP000029	SL-17H, SLM-15
28m	LSP000030	SL-25L
32m	LSP000074	SL-30H
35m	LSP000031	SL-35H

■スリングロープ

SLMシリーズで、附属のカラビナを使用して、直接取り付けできない時に、ご使用ください。

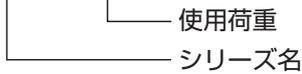


品番	適用型式
P2S300009	SLM-12, SLM-15

高所に設置した機器や昇降物の落下を阻止します。ワイヤロープの繰出し速度がロック限界速度を超えると、装置が落下を検出します。工場内に設置される各種機器や壁面ロボット、体育施設等の落下阻止に最適です。

型式の説明

SLG-100A



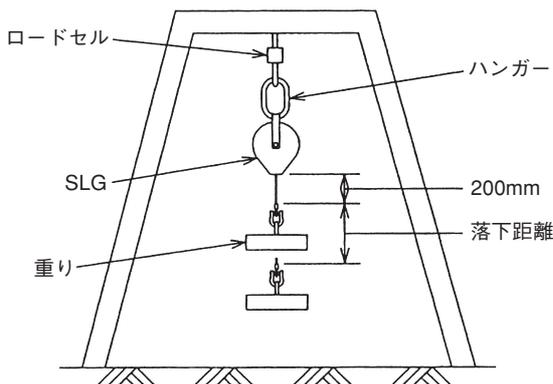
特長

- 衝撃吸収システム（緩衝装置内蔵）の採用により、落下時の衝撃を緩和します。
- 動力にスプリングを使用しており、電気配線やエア配管など一切必要ありません。
- ワイヤロープはスプリングによる自動巻き取り式の為、ゆるんだりすることはありません。
- 堅牢、かつシンプルな設計により取り付けが容易です。
※人体には使用できません。
人体用には当社セルフロックSL型、SLM型シリーズをご用命ください。

落下試験データ

1. 試験方法

SLGの上端を、構造物に設置されたロードセルを備える固定アンカーに取り付ける。
SLGからワイヤロープを200mm引き出し、重りを落下させる。
衝撃荷重及び重りの落下距離を測定する。



2. 試験結果

SLG-100A

重り kg	No.	衝撃荷重 kN {kgf}	落下距離 mm
60	1	3.6 {370}	350
	2	3.5 {360}	280
100	1	3.6 {370}	430
	2	4.7 {480}	380

SLG-250A

重り kg	No.	衝撃荷重 kN {kgf}	落下距離 mm
80	1	4.6 {470}	240
	2	6.0 {610}	290
150	1	4.8 {490}	540
	2	6.8 {690}	360
250	1	6.8 {690}	890
	2	7.6 {780}	1,150

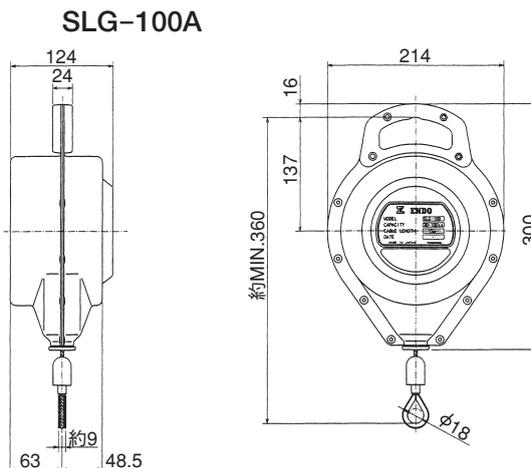
※当社試験による数値です。



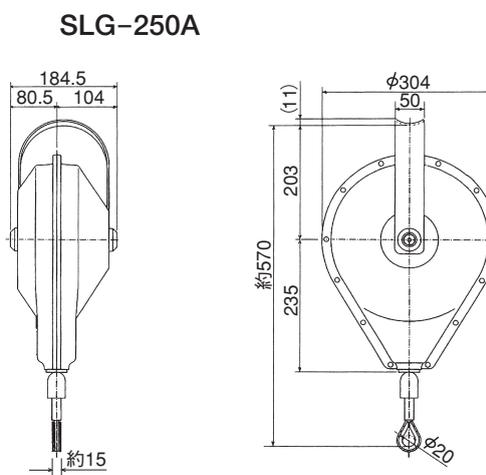
SLG-250A

仕様・外形寸法図 (mm)

商品コード	600140
型式	SLG-100A
容量範囲	30~100kg
最大張力	39N {4kgf}
使用ロープ	φ4.4
ロープ長さ	12m
ロック限界速度	45m/min以上
停止までのロープ 繰出し長さ	約700mm
質量	7.1kg



商品コード	600150
型式	SLG-250A
容量範囲	50~250kg
最大張力	24N {2.4kgf}
使用ロープ	φ6.35
ロープ長さ	12m
ロック限界速度	30m/min以上
停止までのロープ 繰出し長さ	約1,500mm
質量	16.3kg



重要事項

1. 落下事故で作動したセルフロックは、絶対に再使用しないでください。必ずメーカーの検査(総点検)を受けてください。
2. セルフロックの取り付け及び使用前に、取扱説明書を注意深く読み、ご理解いただいたうえで正しくご使用ください。
3. -10℃~+50℃の温度範囲でご使用ください。

使用上のご注意

- 水平移動用には絶対に使用しないでください。落下時に横揺れし非常に危険です。
- 作業開始前の点検は必ず実施してください。
- ワイヤロープがたるんだままで使用しないでください。
ワイヤロープにたるみが生じた場合は、少し引き出してから巻き取らせてください。
巻き取り速度が遅いと乱巻により、ワイヤロープをすべて巻き取らない場合があります。
- アングルやH形鋼等の鋭い角に、ワイヤロープを接触させないでください。
- 引き出したワイヤロープは手を放して巻き取らせないでください。
ワイヤロープが急速に巻き取られ、セルフロック本体やワイヤロープが損傷し非常に危険です。
- ワイヤロープを形くずれやキンクさせないように注意してください。
- セルフロックを投げたり、ぶついたり、引きずらないでください。
- 作業終了後は、ワイヤロープを必ず本体内に収納してください。
- 野外に取り付けたまま野ざらしにしないでください。内部のサビにつながり非常に危険です。
- 高湿や強酸性等の腐食性雰囲気、あるいは粉塵の多い場所等の使用環境の悪い場所では各部のいたみが激しいので、頻繁に点検を行なってください。

ケーブルリール
●
ホースリール
●
ワイヤリール
●
スリッピング
●
スプリングバランサー
●
エアホイスト
●
セルフロック
●
破碎機
●
各種丸ノコ盤



遠藤工業株式会社

本 社 〒959-1261 新潟県 燕市 秋葉町 3丁目 14番 7号
TEL (0256) 62-5131 FAX (0256) 62-5772
本社営業部 〒959-1261 新潟県 燕市 秋葉町 3丁目 14番 7号
TEL (0256) 62-5133 FAX (0256) 62-5772
東京営業部 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町12 タナカビル2F
TEL (03) 5295-3711 FAX (03) 5295-3717
大阪営業部 〒556-0021 大阪市浪速区幸町2丁目3番14号 ダイトビル3F
TEL (06) 6568-1571 FAX (06) 6568-1573
九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目11番15号 文喜ビル3F
TEL (092) 412-5281 FAX (092) 412-5280

ホームページ <http://www.endo-kogyo.co.jp>
<http://www.hasaiki.jp>



CERT. JP97/010458
認証取得：本社、工場

代理店

※当カタログ記載の商品は性能向上の為、予告なく変更することがあります。
※当カタログの作成に際してあらゆる注意を払いましたが、当社は誤記・脱漏に関して責任を負いません。